

札幌市議会議員

池田ゆみ

2022年12月号

市政事務所だより

【発行】日本共産党 池田ゆみ市政事務所 〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階
【HP】 <http://www.yumi-ikeda.com/> 【電話】 818-8367 【FAX】 818-8368



長引くコロナ禍・物価高騰 生活保護、子どもの貧困について求める

第3回定例会市議会（決算議会）は9月21日から11月1日の日程で開催されました。日本共産党市議団は、2021年度決算の認定については、都心アクセス道路等の不要不急の経費が含まれていることから反対しました。池田市議は、弱い立場の人々のくらしを守る視点に立って、定例会市議会に臨みました。

生活保護 気兼ねなく申請できるように

決算特別委員会で、池田市議はコロナ禍、物価高騰のもとで、生活が困窮する世帯が増えているとして、生活保護を必要とする人が、気兼ねなく申請できる条件整備を求めました。

池田市議は、生活相談を受けた事例を引きながら、生活保護を受けられる低い所得水準にあっても「国の世話になりたくない。恥ずかしい」という思いを持っている人が多いことを指摘。

「市は生活保護制度を周知



質問する池田市議

札幌市は2018年度から子どもの貧困対策計画を策定して取り組んでおり、次期の計画策定に向け市は5年ぶりに、子どもの生活実態調査を行いました。

決算特別委員会で池田市議はこの結果から、子どものいる世帯のうち家計の状況が「ぎりぎりま

子どもの貧困 ひとり親世帯の支援充実を

「親兄弟には言ってほしくない」と求めました。

池田市議は扶養照会について、「生活保護のしおり」に明記し、扶養照会については心配しなくても良いことがわかるようにすることを求めました。

これらの制度が十分であるかどうかを検証し、次期の計画では充実した支援策として取り組むことを求めました。

さらに、池田市議は、家計に占める家賃負担率が1〜2割を超える赤字や借金が顕著になっていくことを指摘し、家賃負担を減らすことが、くらしの安定にもつながることから、家計を支える重要な施策として、家賃負担を減らすことを求めました。

い」との声をよく聞く」と指摘。「昨年2月に厚労省から、扶養義務が期待できないと判断する親族の範囲を広げる事務連絡が出されたが」と問い、これに対する市の対応についてただしました。



交換された標識

交通安全要望もお寄せください。月寒東にお住まいの方から、近所の「止まれ」の標識が見えなくなっているとの指摘がありました。池田事務所が早速、道警に連絡し、

保護自立支援担当部長は、2020年の扶養割合は42・8%であったが、21年には32・2%に低下したと答えました。

「横断歩道を設けてほしい」「ゼブラゾーンの通行について教えてほしい」などの要望が寄せられており、過日、「豊平区民の要求を実現する連絡会」として、これらの交通安全要望を豊平警察署に提出しました。

冬季オリ・パラ招致よりくらし守れ

日ハム戦も残り少なくなつた9月24日、池田市議は地域の皆さんと福住駅前でも政報告を行い、冬季オリ・パラ招致取りやめを市長に求めたことを紹介しました。池田市議は、東京五輪をめぐる汚職が広がっていることを指摘。「秋元市長は冬季オリ・パラについてクリーンな大会と宣言したが、宣言で解決できるものではない。スポンサー契約に群がる商業主義のオリンピックには、だれも賛同できない。これで平和のため、スポーツ振興のためと言えるか。日本共産党はだれもがスポーツを楽しめる市政をめざしているが、汚職解明



訴える池田市議

「空いている国有地である」

なしにオリ・パラ招致は許されない」と訴えました。さらに、「秋元市長は冬季オリ・パラ招致を起爆剤に、都心アクセス道路の建設など都心部の再開発に予算をつぎ込み、市民のくらしや福祉は後回しにされている」と批判。

オリンピックやらないと土地貸さない

第3回定例会市議会が終わつて、池田市議は各地で市政報告会を行っています。

月寒東での報告会で、「市は月寒東2条8丁目の開発局用地に月寒の市営住宅をリニューアルして移設し選手村とする予定です。市営住宅は老朽化して建て替えるが必要となつてい

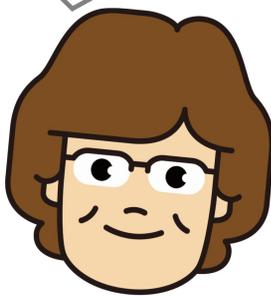
「札幌市の人口197万人のうち100万人が低所得者。1人当たりの所得は20政令市の中で最下位。合計特殊出生率も下から2番目。高齢者が多いのに地域包括支援センターは少なく、市営住宅は建て替えのたびに戸数が減らされている。オリ・パラ招致よりくらしを守れ」と訴えました。



月寒東での市政報告会

「見の狭いこと」と、参加者からあきれた声があがりました。

こんにちは！池田ゆみです



コロナ禍での生活も約3年。

コロナ感染症は、何度かの波を繰り返しましたが収束せず、社会活動の制限を緩和すれば必ず感染が広がり、現在、第8波が急拡大しています。重症化はしないとされていますが、感染が広がれば医療が逼迫、高齢者施設などのクラスターにつながり、高齢者などの命が危険にさらされます。

発熱外来への電話もつながりません。

「らず、つながっても予約がいつぱいで診てもらえない。無料PCR検査も混雑して予約待ち。療養登録サイトにもつながりにくいとの情報も届いており、不安な状況が広がっています。」

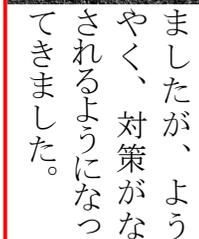
「こんな大変な中で、札幌市は、市のPCR検査を11月末で廃止しようとしています。抗原検査キットが薬局で簡便に手に入り検査できるようになり、PCR検査は、多くの人手と経費がかかることを理由にしています。」

「市民の不安な状況をどう認識しているのでしょうか。廃止などありえませんか。」

(11月末記)

矢羽根型路面標示

最近、区内の幹線道路の両脇に、自転車と青い矢羽根の標示がなされてきています。道開発局が標示しているもので、「矢羽根型路面標示」というものです。



「池田事務所では豊平区交渉などで、自転車の安全走行のための対策を求めてきました。が、ようやく、対策がなされるようになってきました。」

お困りごとは池田ゆみ市政事務所へ

長引くコロナ禍、物価高騰で、家賃が払えない、学費が払えない、税金、保険料の減免ができないか、支援金を申請したいが手続きがわからないなど、お困りごとは池田ゆみ市政事務所 818-8367へお電話ください。

池田ゆみ市政事務所 (36号線きたえーるに入る角、接骨院隣) は平日の10時~16時の間開いています。

無料の法律相談会も毎月第3木曜日午後2時から行っています。弁護士が対応します。

こちらは予約が必要です。818-8367へお電話を